

平成30年度防災訓練を実施

核融合科学研究所は、9月19日に、土岐市南消防署の協力を得て防災訓練を実施し、職員や学生など所員325名が参加しました。

訓練は、9時30分に震度6弱の大地震が発生し、研究所構内の食堂厨房で負傷者が発生し出火したという想定の下で、危機管理指揮本部内に災害対策本部を立ち上げて実施しました。

統括管理者の指示により、研究所職員で構成される自衛消防隊は研究棟や管理・福利棟などアカデミックゾーンを担当する「本部隊」と、大型ヘリカル実験棟などの実験ゾーンを担当する「地区隊」に分かれて、地元自治体等の関係機関への通報、電気・ガス・水道等のライフライン状況確認、実験設備の高圧ガス・危険物質等における安全確認、地震災害を想定した負傷者の搬出、初期



災害対策本部の様子



負傷者搬送訓練を行う自衛消防隊

消火などを行いました。隊員以外の所員は、研究所構内に指定された一次避難場所へ速やかに避難し、安否情報確認を行いました。警戒態勢の解除とともに防災訓練が終了し、引き続き、土岐市南消防署員の指導の下、所員による屋内消火栓と消火器の取扱い訓練が行われました。

今年度は、地元住民からの避難要請を想定した誘導訓練を行うなど、より実践的な訓練を行いました。土岐市南消防署からは、「安否確認が遅れる場合や避難放送が聞き取りづらい場合があるが、実際の災害現場でも起きうることであるため、想定の中に入れて訓練すべき。」との講評がありました。また、竹入所長からは、所員に対し「緊急事態への習熟度は上がってきている。これに満足せず、更に習熟して欲しい。」との挨拶がありました。

黄 中国科学技術部副部長（副大臣）が核融合科学研究所を表敬訪問

中国科学技術部黄 衛 副部長（副大臣）ら8名が、10月30日に核融合科学研究所を表敬訪問しました。

一行は、竹入所長から研究概要の説明を受けるとともに、日中両国の核融合研究について意見交換を行いました。次いで、制御棟制御室、大型ヘリカル実験棟本体室を視察しました。本体室では、実際に大型ヘリカル装置（LHD）の上部から視察し、装置の大きさを体感するとともに、LHDの周辺に多く設置されている様々な機器の役割などの説明を受け、熱心に聞き入っていました。

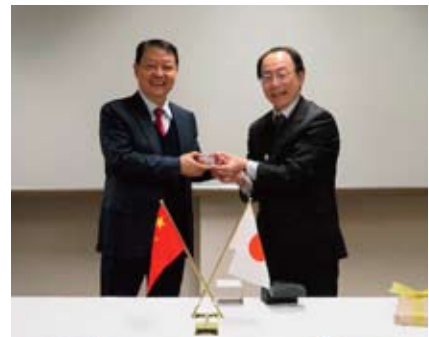
今回の表敬訪問を通じて、核融合研と中国西南交通大学間で昨年度から開始された、中国初のヘリカル研究に係る共同プロジェクトの推進など、今後の核融合研究における連携の重要性が確認されました。



制御室において説明を受ける黄副部長（中央）



中国科学技術部一行（黄副部長は後方中央）



黄副部長（左）と竹入所長



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

核融合科学研究所 発行

NIFS NEWS
No.244

2018年10,11月号

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6
TEL : 0572-58-2222(代) FAX : 0572-58-2601
URL : <http://www.nifs.ac.jp/>
E-mail : nifs-news@nifs.ac.jp

※過去のニュースはホームページにてご覧いただけます。

複写される
方へ

本紙に掲載された著作物を複写したい方は(社)日本複写権センターと包括複写特許契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

一般社団法人著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F
TEL:03-3475-5618 FAX:03-3475-5619 E-mail:info@jaacc.jp 著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本研究へご連絡ください。